

令和2年度 マリア学院 市原マリア・インマクラダ幼稚園自己評価結果

1 本園の教育目標

神さまと周りの人たちから愛されていることに気づく(宗教教育)
幼稚園生活の体験を通して 自分自身が好きになる(モンテッソーリ教育)
集団生活の出会いと関わりを通して 神様と周りの人々を大切にする(平和教育)

2 本年度 重点的に取り組む目標・計画

- ・子ども一人ひとりが必要とする援助を把握し、教職員が連携した保育を構築する
- ・防災、防犯ともに共通意識をもって取り組む
- ・コロナの中においても家庭と連携をとり、子供の育ちにともに関わる

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
カトリックの幼稚園として	神様から愛されている一人一人の子ども達であること。歌、祈り、お話など宗教教育を身近なものとしてきた。
幼稚園教諭として	子どもの姿や言葉ありのまま受け入れる心を大切に保育に取り組んでいた。
モンテッソーリ教育	一人一人の子どもをよく観察し、発達、興味にあった環境を準備し心と体の成長、発達を援助していくことに努めた。
宗教教育	お部屋の中の環境や宗教の時間だけでなく、日常生活のなかで神様を感じることを大切にした。
平和教育	神様から与えられた命はとても大切であるということを日常生活においても子ども達に言葉にして伝えるよう心掛けた。
安全管理	自然災害、防犯について話し合い、意識して生活するように心がけた。 定期的に防災訓練を実施できた。
保健管理	コロナ中で子どもの健康状態を把握するために、家庭や職員間の連絡、報告を密にとった。
子育て支援	預かり保育の充実に向けて取り組んだ。 未就園児クラスへの 保護者の要望を受け止め、様々なクラスの開催とカウンセラー等による子育て相談等を実施した。
学校・地域との連携	コロナの中、様々なイベントや交流が中止された交流ががなかなか難しい一年であった。

4 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・コロナについて話し合いや見直しを行い、職員の意思疎通がより細やかになった。
- ・コロナ中、園アプリを取り入れてアプリで連絡を取れるようにした。
- ・園だより、クラスだより等を通じて 園の教育方針を家庭に伝えてきた。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育目標	子ども一人一人の成長を理解し援助していく。
子育て支援	保護者のニーズを把握しながらも、園の教育方針等の情報発信をも積極的に行う
特別支援教育	一人ひとりの状況を把握し、適切な指導計画を作成するために、医療・福祉関係機関との連携を模索したい。
安全体制	コロナも含め保健、安全ともに 現代社会の状態を正確に知り、危機回避につなげられるよう具体化していく。

6 学校関係者の評価

- 保育内容評価について、学校関係者12名の意見を集約
- ・モンテッソーリ教育を通して、子供たちは豊かに成長していると感じられる。
 - ・幼稚園生活を充実した毎日を送っている様子がうかがえる。
 - ・園のアプリやお便りなど幼稚園生活がよくわかった。

7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる